

無償資金協力「TICAD 産業人材育成センター」着工式

9月30日、松永大使は、無償資金協力「TICAD 産業人材育成センター」の着工式に出席しました。我が国は2009年よりカイゼン活動のエチオピアへの導入に取り組んできており、エチオピア・カイゼン機構（EKI）の立ち上げを含む、エチオピア人カイゼン・コンサルタントの育成など、具体的な成果を創出してきました。

今回の TICAD 産業人材育成センターは、EKI の本部機能及び研修室に加え、地方都市からの研修生を受け入れ可能とする宿泊棟も配備される予定です。さらに、同センターは、近隣諸国からの研修生を受け入れる当該地域の中核拠点となることが期待されています。

着工式では、松永大使から、アビィ首相の経済改革におけるカイゼンを通じた生産性向上の重要性及び TICAD 産業人材育成センターが地域の中核拠点となることへの期待を述べるとともに、ビルハヌ・エチオピア公務員委員会副委員長からカイゼンの同国経済改革における重要性及び同委員会としての本事業へのコミットメントの表明がありました。また、メコネン EKI 事務局長からカイゼンの地域拠点をめざす強い意思の表明がありました。

着工式では、本事業を担当するフジタ社により鍬入れ式や日本式のお清めなどが行われ、工事の安全が祈願されました。



松永大使によるスピーチ



ビルハヌ副委員長によるスピーチ



鍬入れ式の模様



お清め式の模様